

愛媛県DX推進リーダー育成プラン

令和7年5月

愛媛県企画振興部デジタル戦略局

01

策定の背景・目的

人口減少・少子高齢化の進展や価値観の多様化、デジタル技術の革新など社会情勢の急速な変化に伴い複雑化・高度化する行政課題に対応していくためには、全庁的なDX推進に向けた職員のデジタル人材育成が重要となってくる。このため、本プランでは、DX推進の中核を担う職員の戦略的な育成に向けて、人材像や求められる能力などを整理する。



複雑化・高度化する行政課題に対応していくため、職員のデジタル人材の育成が必要

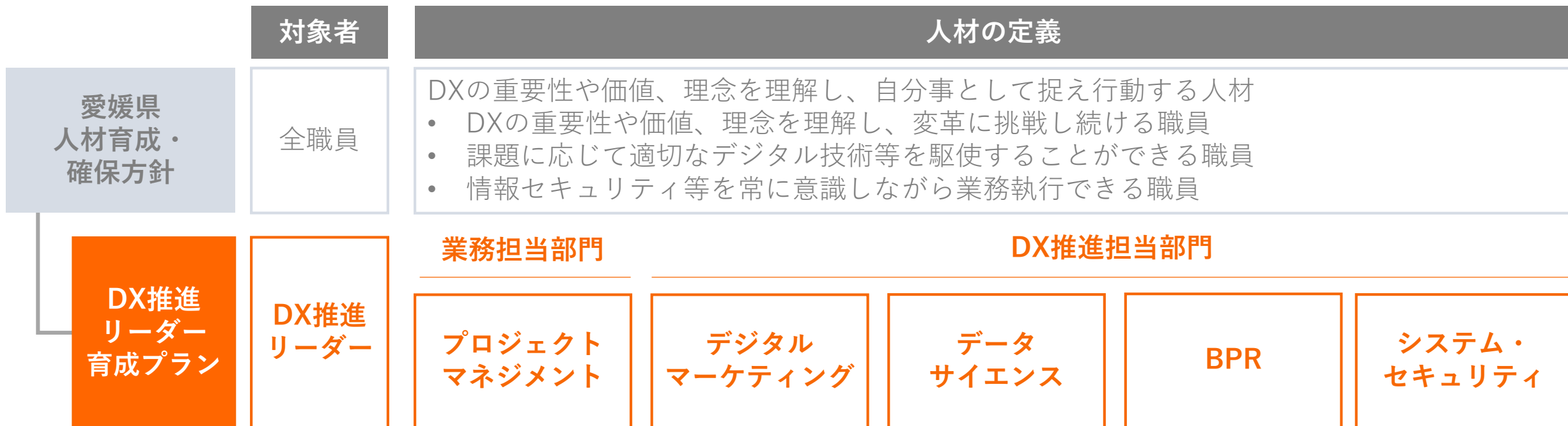
02

本プランの位置づけ

本プランは、国の「人材育成・確保基本方針策定指針」（総務省:令和5年12月策定）を踏まえつつ、職員のうちDXの取組みの中核を担う「DX推進リーダー」の育成に係る基本的な考え方を定めるものであり、全職員を対象とする「愛媛県人材育成・確保方針」を補うものと位置づける。

DX推進リーダーの育成にあたっては、成果重視政策マネジメントの取組みと連携し、事業課題の可視化や業務フローの効率化を図ることとする。

本プランの運用に当たっては、本県DXの進捗状況やその時々で直面する課題等に的確に対応するとともに、社会の状況変化等にも柔軟に対応していくため、必要に応じて適宜見直しを行う。



03

愛媛県におけるDX

本県では、県民が安心して心豊かな生活が送れるデジタル社会の実現を目指し、令和3年3月に策定した「愛媛県デジタル総合戦略」を皮切りに、スピード感を持ってDX推進に向けて取り組んでいる。

(第2期) 愛媛県デジタル総合戦略

基本方針

県民本位

市町との協働

官民共創

基本姿勢

改革に挑戦

実装に挑戦

徹底したデータ利活用に挑戦

戦略戦術

行政のDX

暮らしのDX

産業のDX



職員一人ひとりがDXの重要性や価値、理念を理解し、自ら主体的に行動する

DX推進を担う人材を、その役割に応じ「高度専門人材」、「DX推進リーダー」、「一般職員」の3類型に分類。高度専門人材は外部からの登用、DX推進リーダーは一般職員を育成し確保することを基本とする。

育成により確保

中途採用・外部からの登用により確保

一般職員（全職員）

- DXの重要性や価値、理念を理解し、自分事として捉え行動する人材

DX推進リーダー

- DX推進に向けた取組みの中核を担う人材
- 役割に応じて5類型に分類

高度専門人材

- それぞれの専門分野におけるアドバイザーを担う人材

04-2

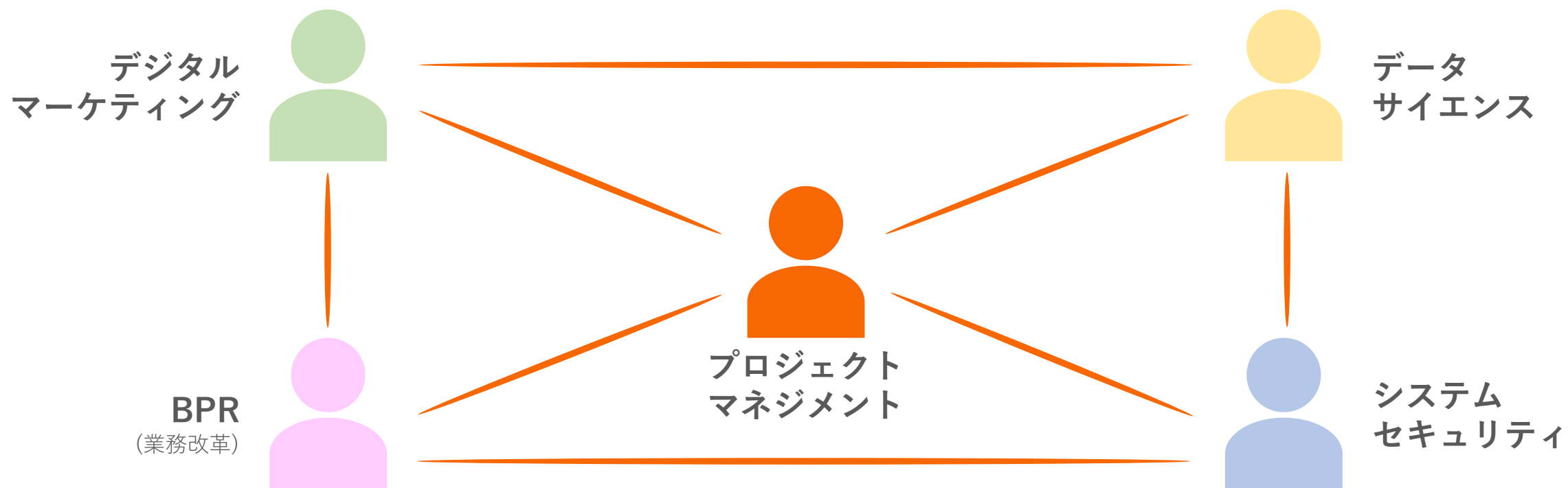
求められる人材像

DX推進リーダーの役割①

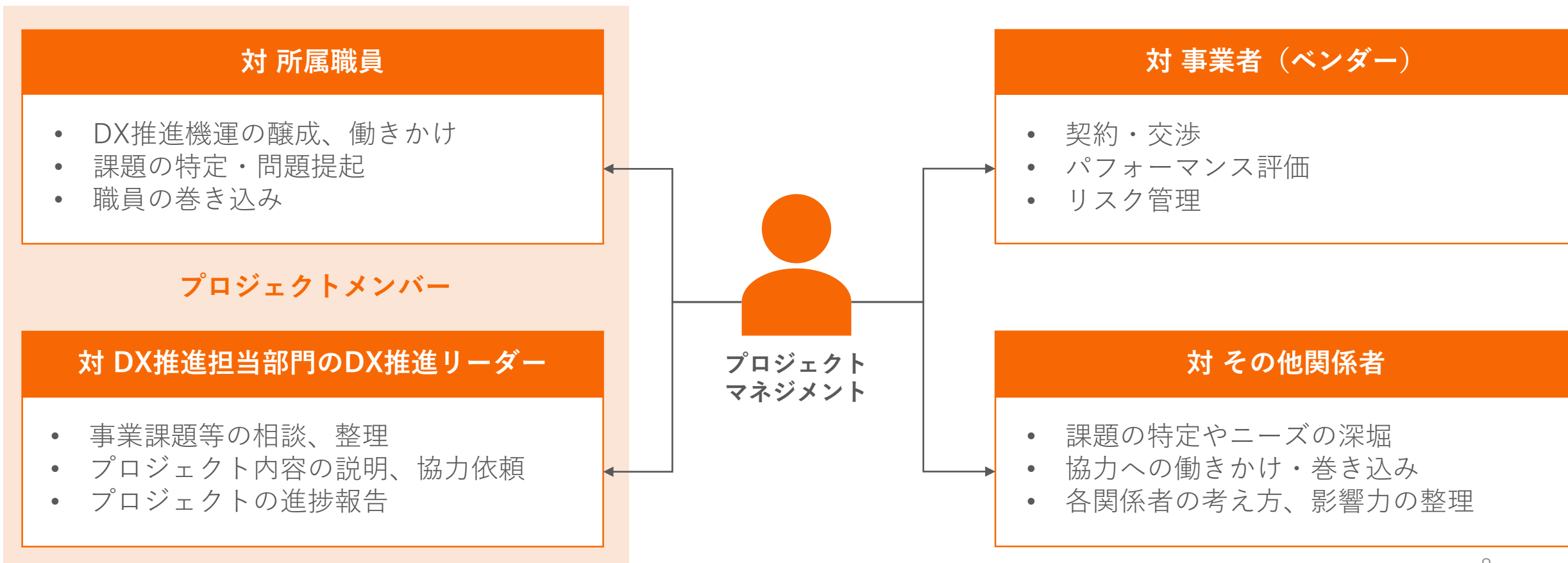
「プロジェクトマネジメント」、「デジタルマーケティング」、「データサイエンス」、「BPR（業務改革）」、「システム・セキュリティ」の5つをDX推進のコアスキルと設定のうえ、それぞれを専門的に担う人材をDX推進リーダーとして定義。

DX推進リーダー 人材類型		期待する役割・人材像	育成目標数 (配置数)
業務担当部門	プロジェクト マネジメント	デジタルに関する一定の知識と行政実務の知識・経験を兼ね備え、庁内外の必要な人材を巻き込みながら、デジタル技術/データを効果的に活用し、政策の高度化・業務変革を推進できる人材	各所属1名 (主幹級職員)
DX推進担当部門	デジタル マーケティング	各課の事業領域のターゲットを分析したうえで、各事業のマーケティング戦略の企画立案から実施、効果測定までを伴走的に支援できる人材	各5名程度 (DX推進担当部門 に配置)
	データ サイエンス	各課の課題や現状を把握するため、庁内外から必要なデータを集めたうえで、それを可視化するとともに洞察ができる人材	
	BPR（業務改革）	各課の業務を分析し、あるべき理想像を提案するとともに、AI・RPAなどの専用ツールを活用しながら、業務の全体最適化を目指すことができる人材	
	システム・ セキュリティ	庁内情報システムの運用保守を行いながら、常に時代に合った最適なITインフラ環境整備を企画・構築できる人材	

DX推進リーダーは、プロジェクトマネジメント人材を中心に他の類型とのつながりを積極的に構築した上で、組織や部署の垣根を越え、協働しながらDXに取り組む。



業務担当部門のDX推進リーダーは、庁内外の関係者とコミュニケーションを取りながらマネジメントを図り、プロジェクトの目的達成を目指す。



04-5

求められる人材像

DX推進担当部門のDX推進リーダー

DX推進担当部門のDX推進リーダーは、それぞれの専門知識・スキルを発揮し、業務担当部門のDX関連プロジェクトへの伴走支援等を行う。

デジタルマーケティング

- マーケティング戦略の企画、ターゲット分析、効果測定に係る相談・伴走支援
- クリエイティブの制作支援

データサイエンス

- 庁内データの取り扱いに係る統制
- データの可視化及び洞察による各意思決定の支援

BPR（業務改革）

- 庁内業務を分析し、業務効率化の提案
- AIやRPA活用等に係る相談・伴走支援

プロジェクト
マネジメント

システム・セキュリティ

- セキュリティと利便性のバランスが取れた情報システムの企画・構築・運用・保守等の支援
- ITツール導入時のセキュリティチェック

【人材類型の略称】

PM：プロジェクトマネジメント

DM：デジタルマーケティング

DS：データサイエンス

BP：BPR（業務改革）

SS：システム・セキュリティ

DX推進リーダーの人材類型毎に備えるべきスキル項目を定義。

分類	スキル項目	定義	類型毎に求めるレベル				
			PM	DM	DS	BP	SS
戦略・企画	ITストラテジー	DXやICTに関する戦略策定や事業企画を行う	◎	◎	◎	◎	◎
	サービスデザイン	デザイン思考に基づき行政サービスの開発や改善を行う	◎	◎	◎	◎	◎
	最新技術・関連法	最新の技術やサービスに加え、IT関連の新法・改正法などの動向を把握する	○	◎	◎	◎	◎
プロジェクト管理	スコープマネジメント	範囲を定めたうえで目標を達成するために必要な成果物やタスクを定義する	◎	○	○	○	○
	スケジュールマネジメント	プロジェクト活動を計画・管理し、予定通りに進行させる	◎	○	○	○	○
	ステークホルダーマネジメント	必要な情報の収集・伝達を行い、ステークホルダーと良好な関係を構築する	◎	○	○	○	○
	リスクマネジメント	リスクの洗い出しや分析、対応の優先順位を整理のうえ、対応策を検討する	◎	○	○	○	○
	調達マネジメント	プロジェクト活動に必要なものの選定から契約、納品の進捗管理などを行う	◎	○	○	○	○
マーケティング	SNS・Webサイト運用支援	各媒体の特性や目的を踏まえ、戦略立案から運用、モニタリングを行う	○	◎			
	広告運用	各媒体の特性や目的を踏まえ、戦略立案からモニタリング、効果測定を行う	○	◎			
	クリエイティブ制作	ターゲットに合わせ、グラフィックデザイン、コピーライティングなどを行う	○	◎			

レベル定義

◎：高度な知識・スキルが必須

○：基礎的な知識・スキルを保有していることが望ましい

【人材類型の略称】

PM：プロジェクトマネジメント

DM：デジタルマーケティング

DS：データサイエンス

BP：BPR（業務改革）

SS：システム・セキュリティ

DX推進リーダーの人材類型毎に備えるべきスキル項目を定義。

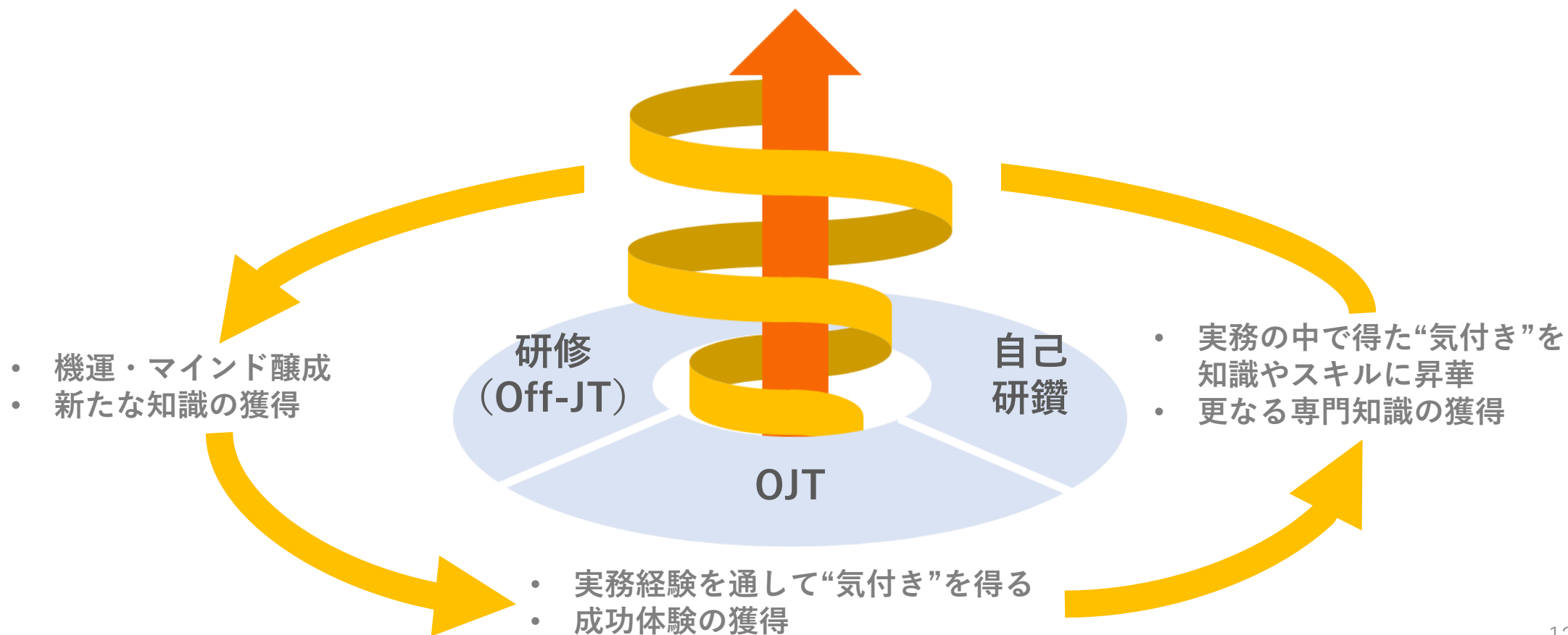
分類	スキル項目	定義	類型毎に求めるレベル				
			PM	DM	DS	BP	SS
データ	仮説立案・データ収集	課題に応じて適宜仮説を設定のうえ、検証のために必要なデータを収集する	○		◎		
	データの前処理・可視化	データを適宜整理・加工のうえ、BIツールなどを駆使して視覚的に表現する	○		◎		
	データからの洞察	分析結果を踏まえて、レポートを行う	○		◎		
業務改革・改善	業務プロセス分析	担当者へのヒアリング等を通じて、現状の業務プロセスの課題を整理する	○			◎	
	業務プロセス設計	全体最適な業務プロセスの設計を行う	○			◎	
	システム開発・管理・運用支援	各業務に応じ、AI・RPAをはじめとするツールの導入や定着化を図る	○			◎	
システム・セキュリティ	ネットワーク設計・構築	ネットワークに関する専門知識・スキルを有し、システム企画/導入を行う					◎
	サーバ基盤設計・構築	サーバ基盤に関する専門知識・スキルを有し、システム企画/導入を行う					◎
	データベース設計・構築	データベースに関する専門知識・スキルを有し、システム企画/導入を行う					◎
	サイバーセキュリティ	セキュリティに関する専門知識・スキルを有し、システム企画/導入を行う	○	○	○	○	◎
	システム監査	客観的な視点からシステムの信頼性・安全性・効率性等の点検・評価を行う					◎

レベル定義

◎：高度な知識・スキルが必須

○：基礎的な知識・スキルを保有していることが望ましい

DX関連プロジェクトをはじめとする実務経験を学びの基本としながら、研修や自己研鑽を効果的に組み合わせることで、DX推進リーダーの育成を図る。



DX推進リーダーを育成するため、実務の中で専門的な助言が出来る高度専門人材の確保や、必要に応じて専門研修の提供や自己研鑽への支援など、“育つ環境”を組織として整える。

**研修 (Off-JT)**

- 研修機会の提供
 - ✓ リーダー向け研修
 - ✓ 外部人材等を活用した研修
 - ✓ 外部講座への参加 等

**OJT**

- DX関連プロジェクトを通じた実務経験
- 上司や同僚、高度専門人材などからの助言等

**自己研鑽**

- 自己研鑽に励みやすい職場環境づくり（任意参加の研修や勉強会の参加機会の確保等）
- 情報処理技術者試験など業務に有効と認められる資格の取得支援

DX推進担当部門と人事・研修担当部門が連携しながら、DX推進リーダーを含むデジタル人材の育成・確保に関する全庁統括機能を担う。

